

高齢者 住宅改修の流れ

〈赤文字は介護保険などを利用する場合〉

① きっかけ

- 生活関連動作がしにくくなった
- 転倒など住宅内事故を避けたい
- 介護保険などの支援制度がわからない
- 相談窓口がわからない

② 相談

相談士とは…
高齢福祉の知識を持つベテラン建築士

相談士の役割は…

- ① 無料相談
 - 改修事例の紹介
 - 介護保険など支援制度の紹介
 - ヒアリングシートの作成
 - 一般的な留意点の説明
- ② 改修の提案 (実費が必要)
 - 現地調査、直接聞き取り
 - 改修計画案の作成と説明
 - 概算費用の算出

⑤ 工事契約

- 建築士の助言
- 施工業者の選定
 - 見積の取り方や内容のチェック



- 建築士による現場のチェック
- 設計意図が確実に伝達されているか
 - 仕様や内容に誤りはないか
 - 工事写真や施工図が記録されているか

⑥ 施工

- 工事中の打合せ
- 手順や材料の説明を受ける
 - 介護関係者の意見を確認
 - 使用感を試す
 - 工事日程の確認
 - より良い改修への見直し (変更や追加は書面を交わす) (費用や工期の見直しの要否を確認)

介護保険や
各種支援制度の利用



引き渡し



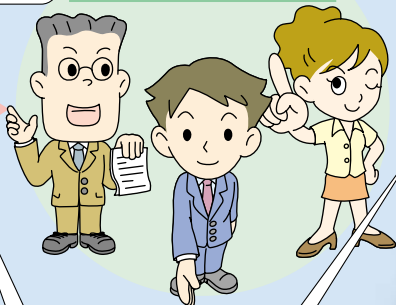
高齢者
(その家族、関係者)



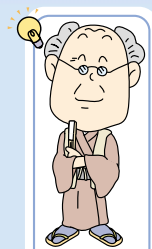
県や市町村の窓口で
住宅改修相談士を
紹介してもらう

住宅改修相談士

相談

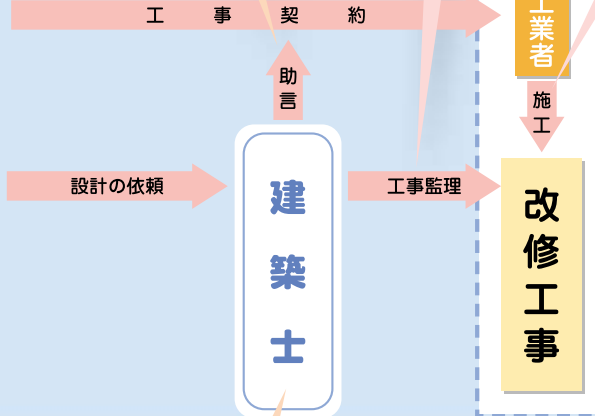


検討



住宅改修の決定

ケアマネージャーや在宅介護支援センターと
打合せして相談や検討を進める



③ 検討

- ① 改修内容を考える
 - どのような生活を希望するのか
 - どこを、どのように改修するか
 - 家族や関係者の意見は聞いたか
 - 福祉用具は利用できるか
 - 身体特性に合った計画か
 - 参考となる事例はないか
- ② 資金計画を立てる
 - 準備できる自己資金はいくらか
 - 介護保険が適用できるかどうか
 - 介護保険以外の支援制度は使えないか
 - 支援資金が支給されるのはいつか

④ 設計

- 設計の打合せ
- 本人の希望を反映した計画を立てる
 - 構造、設備、仕上げなどの現状を調べる
 - 改修する詳細な内容を決める
 - 使いこなせるよう、身体特性に応じて工夫する
 - 工事費用を算出する
 - 費用のうち、支援制度の対象を抜き出す
 - 再改修しやすいように工夫する
 - 工事期間中の仮設備の必要性を考える
 - 支援資金の申請に必要な書類を準備する

⑦ 完成

- 使いこなし、使い勝手を確かめる
- 使用方法の説明や助言を受ける
- 工事記録 (写真や図面) を受け取る
- 福祉用具を活用する
- 各種介護サービスを利用する
- 不具合があれば手直しする